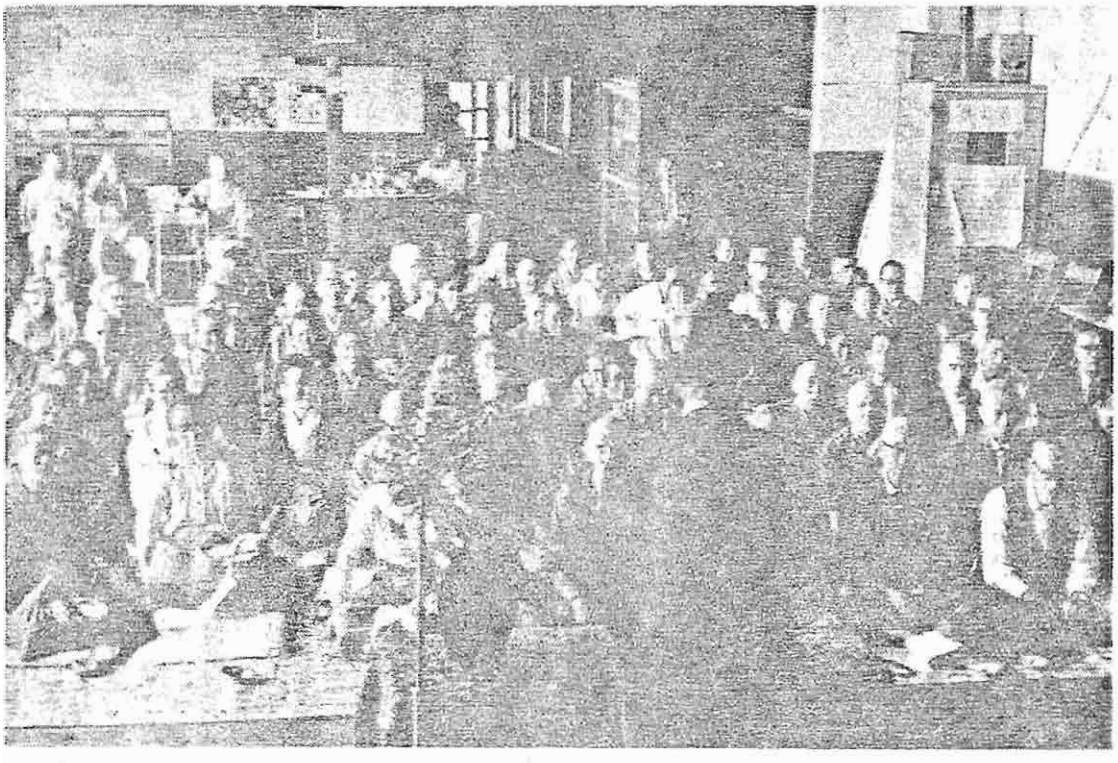
広報 いまかね

発行　今金町役場　　編集　企画室　　印刷　野宮印刷　　43.10.15 発行



10月のこよみ

1　日　法の日
3～9日秋の環境衛生週間
4　日　里親デー
10　日　体育の日
11～20日
秋の交通安全運動
15～31日
秋の全道火災予防運動
17　日　貯蓄の日
24　日　国連の日

10月

No.124

みんなで明るい老後を

老令福祉年金は、70才以上のおとしよりに国から支給される年金である。10月から年額20,400円（月額1,700円）に引き上げられた。しかしある程度生活にゆとりのある方々は、ご遠慮願う仕組になつているが70才になれば、だれでも年金を受ける権利がある。

手続きは役場町民課で取扱つているので裁定請求書を提出すること。これを5年間放つておくと時効になるので、みんなそろつて明るい老後のためにも早めに手続をしよう。

世帯と人口　世帯数 2,809　人口 11,992（男5,854　女6,138）43.9.30現在

明るい農村づくりに
青年と親の対話会
活発に意見を交換

町農業後継者育成協議会が九月七日、役場会議室で農業の高度化に対応するための、農村生活について親と子が、自由な話し合いを通して、相互の理解を深めより明るい家庭づくりをどう進めればよいかを、積極的に考え合う親子の対話会を開きました。この結果、明るい農村づくりは親と子がじっくり話し合い家庭の円満を図ることにあるとされています。この熱心な対話について要旨を述べてみます。

青年が希望する農業

この日集まったのは青年代表四人、父親代表二人。それに犬上助役、中野農協専務理事、青木婦人団体協議会長、佐藤社協主事を助言者として、久保田企画室長の司会で対話が進められました。まず青年たちは、水田にたよらず耕地の拡大を図り、草地改良を進め乳牛のほか、肉牛も導入積極的な酪農経営をとり組みたい。また、農業に地域差に比べ、いまだ、おくれすぎることを強力に改善したい。

このほか結婚後の別居などについて、別居するのもよいが経済面から見て考えるべきだ。家庭の円満を図り相方の理解度を高めるべきである。さらに封建的な習慣をすみやかに打破して生活の環境を整えることが必要だと意見が述べられました。

親の立場から

これについて父親側は、青年たちが嘆こんで農業を受け継ぐようにすべきである。嫁の問題もあるが、嫁さんが進んでくるような農家をつくるとともに、所得の倍増を図り青年に希望をもたせる経営にすべきである。つまり機械化、生活改善、土地購入なども考えることが望ましい。また、結婚後の別居については、家庭内でよく話し合って結論を出すべきでしょうと述べました。

写真＝熱心に意見を交換する親子の対話会

助言者から

親と子の関係は経営の上でもつともたいせつである父子契約、法人組織がすでに各地で進んでいるが、それぞれの立場で協議円満を図るべきだ。また主婦の負担が過重で改善の必要がある。さらに農村に多い封建性をすべて排除すべきである。別居問題も親と子の距離は近いほどよいとされ相方じつくり協議して決めるべきだ。さいふについてもおたがい信じあうことにより解決される。小使も年給か、月割現か収入にあわせ決めることなど総合的な意見が述べられました。町は農業を継続してゆくよい後継者対策のひとつに、こんごも母親とむすめ母親とむすこ、むすめの対話を続けることになつています。

老人福祉大会で
連合組織の結成決める

今金町社協、町老人クラブ、町など共催の今金町老人福祉大会が九月五日、公民館に老人、関係者合せて約百五十人が集まり開かれました。

大会は〝みんなで明るい老後をめざし、いくらかでも社会に貢献しよう〟をテーマに福祉の研修もかね開いたもの。また〝元気で生きぬくためにも、クラブの連合組織をつくる〟ことも全員で決議しました。

この日は、熱とうを捧げて物故者のめい福を祈つて安部町長、曽我牛蒡長らが祝辞を述べました。さらに〝健康を保つにどうするか〟などの講演に老人たちは耳をかたむけ、しあわせを願つていました。さらに町内の小、中、高校生の代表がそれぞれ作文を読みあげ長く生きてください と老人たちをはげましました。

このほか今金婦人会の協力でたこやかに昼食をとりお茶、ジュースのサービスに感謝していました。午後は、老人たちの〝のど自慢〟〝輪投げ〟のほか婦人会、家庭の会員に会場がわき敬老の日を前になごやかな大会となりました。近く花石、美利河、八束でもクラブを結成する予定です。

敬老の日高令者を慰問

安部町長は敬老の日の九月十五日、町民課長とともに八十八才以上の高令者十八人を訪問、老人としたしく話しあつた。いつれも元気で昔の思い出話しを語り老後をたのしんでいます。ことしの最高令者は曙町の大平とみさん九十二才です。

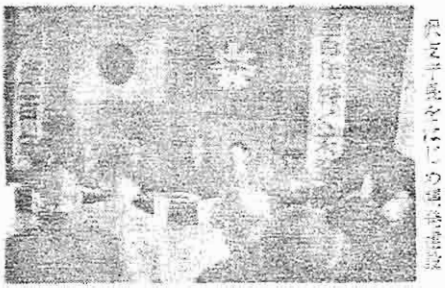
◇役場の執務時間がかわりました
（10月1日から）

午前9時から午後5時までです。

地域に密着した道政を

美利河地区で道政懇談会

檜山支庁移動懇談懇談会が9月17日、美利河福祉会館に地域住民、支庁、出先機関合せて70人が集まって開かれました。席上、取りのこされた諸問題を早急に解決してほしいと実情をうったえると、関係者も道政に反映させ善処したいと述べ、明るい村づくりに期待がよせられています。



移動道政懇談会には高橋知事を始めとする道の関係者が出席

部のほか、道の出先機関も出席しました。これは道政と道民生活の結びつきを深め、道の施策が地域住民のなかに具体的にとけこむよう行政サービスを強化するものです。

懇談会は、農林畜産、道路河川、教育衛生の三つに分け林野庁林務課長の司会で開かれ、活発に意見がかわされました。地域住民のおもな要望は、農家に喜こばれる牛を貸付してほしい。酪農振興の悲願があるが制度資金の償還などで生活が苦しくなり生活保護の適用をうけ経営がおもわしくない。

水利権についても実情にあわせ配慮してほしい。砂利採取などで水位が下り飲料水にもことかく、簡易水道の整備を願いたい。

災害復旧事業の促進と美利河地内の道々線もすぐ舗装されたい（長万部―東瀬棚線）

教育関係では児童生徒の体位向上に給食を実施すること。学校内に体育場を設けること。奨学資金を増額、広く利用させること。中学校統合は早めにされたい。さらに国鉄瀬棚線の廃止は総合開発に逆行するもので断乎反対であると強い要望が出されました。

これらを総合的に道政に反映させ各関係機関において調査の解決をすみやかに進めることになりました。

ひとこと

わが今金町は水田と酪農の農村であり、昨年に続く豊作はまことに喜こばしいことである。

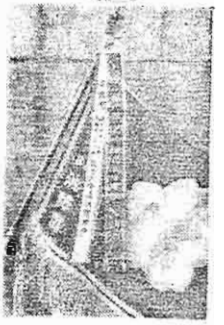
しかし米の豊作は遂に食管制度の改廃まで進展するにいたった。したがつてこんどの豊作は自由化される時代になつても安心して供給できる体勢が必要であるこのため本町の立地条件に促した、優良品種の作付を奨励に努め、肥培管理に徹して地域の銘柄を得るとともに、基盤整備を行ない機械化、集団形が十分発揮できるようにして省力化を図り生産費の低減につとめることである。米の生産手帳通り進んでいるが、農耕地の六割を占める畑地は酪農が主体で、乳検事業の推進にもかかわらず、進度がおそくいちまつのさびしさを感ずるをえない。本町には草地可能地が多く、これを草地化して乳牛の増殖を図ることが急務ではなかろうか。これからの酪農は産乳能力の向上と優秀な牝牛を生産するために種牝牛との配合検査も必要である。

ことに水田農業者の冬期間の余剰労力を肉牛の生産に仕向けるようなことも考えられ、かつ必要に迫られている。

このように水田の構造改善と酪農基盤が完成されるとき、本町農業の前途はまことに洋々たるもので、連続の豊作は農業者に勤倹の精神を忘れさせているのであるまいか。先人の開拓精神をしのび貯蓄に努めるときである。冷害、凶作、災害がいつくるかわからない今金地区農業改良普及所長

井上幸吉

河村さん 消防長官彰 消防団 等頭綬贈られる



四十年間にわたつて町消防の充実に貢献した今金河村由太郎さん（70）が四十三年度消防関係防災功労者として九月三日消防庁長官から表彰されました。

河村さんは、大正十二年利別消防組（現消防団）に入組、消防団、消防後援会を通じこの四十年間、消防の充実に力を入れてきました。この間自費で大阪までかけ、消防操法、消防機関の実技を修得したり、私財を投じて防火堤をつくるほか、ポンプ車の導入などの重要性を町内に訴え実現を図りました。その運動がこん日のりつぱな消防組織をつくりあげたものです。

このかげに町民、消防団員の協力もありますが、なんといつても終始一貫しての河村さんの功績は大きく消防発展のためにいつまでも健康であることを祈り、栄誉をみんなで讃えましょう。一方、今金町消防団にも旭川市で開催された全道消防大会で、道消防協会から等頭綬が贈られました。これは消防業務に功績のあつた優良団に贈られるもので、日ごろ団員の消防活動が実を結んだものです。表彰は全道で六団です。

『ついうっかり』が 火事のもと

◉わが家の防火責任者をきめよう◉

役所の仕事に苦情はありませんか

〃行政相談週間〃

行政管理庁は、十四日から二十日まで行政相談週間を実施することになりました。期間中各種行事を通じ行政相談の制度を広くみなさんにPRすることになっています。

この相談は、役所の仕事についての不平や不満を解消する制度です。そこで本町でも函館行政監査局および行政相談員清水正義さんとともに相談所を開催することになりました。このため国や道、町、公社、公団公庫などに対しての苦情や要望を解決するもので、どんな小さなことでも気がるに相談下さい。これらは一切秘密でしかも費用はかかりません。行政相談所は次のとおりです。

とき十四日から二十日まで（午前10時～午後3時）

ところ　役場町民相談室

◉官公庁合同相談日

十八日（午前10時午後4時）於町公民館

この日は各関係行政機関が協力開催するのでご利用下さい。

◇郵便局で簡易保険を進めている

簡易保険は国民経済の安定と福祉の増進を目的として近代国家の建設に大きく貢献しています。なかでも学校、病院、住宅、道路、橋などの建設資金に利用され郷土の発展に役立っています。将来の生活設計のために、あるいは万一の事故にそなえて、町内の各郵便局にただいま開道百年記念の事業として加入運動を行っていますので加入にご協力ください。

町内各郵便局長

◇秋の火災予防運動はじまる

秋の全道火災予防運動が十五日から三十一日まで実施されます。火災をなくする運動を広く展開し、尊い人命や貴重な財産を火災から守り、豊かな生活を築きあげましょう〃火のゆだん家はもとよりいのちまで〃集合煙突やガス、石油類などの火災防止にも注意しましょう。

文庫を利用しよう

灯火したしむ頃、読書の秋を迎え道立図書館は、みなさんに読書をすすめ、町公民館をキーステーションに図書を貸出します。次のステーションで配本しております。貸出しは無料で一人一冊の一週間以内です。

また次の配本は十月三十日です。利用下さい。

▽一般ステーション

美利河＝東条タケ、花石＝阿部久治、中里＝伊藤静子、熊吉＝熊吉敬喜子、種川＝友善幸次郎、金原＝鈴木ゆう、豊田＝鳴元たまえ、苅丘＝中野喜久次郎、八束＝鈴木実行、今金＝町民課長（役場内）

▽職場ステーション

明治乳業＝福士覺吉、農協＝伊藤美弥子、郵便局＝水野四郎、今金小校＝山内鶴嗣、今金中校＝佐野寅夫

◇自動車税第二期は

自動車税第二期の納期限は十月三十一日です。納入については拓銀、道銀、郵便局のほか便利な預金口座振替納税を利用ください。

桧山支庁税務課

◇オリンピックと雑音一掃運動

NHKでは、第十九回オリンピックメキシコ大会を宇宙中継で十三日から二十八日まで放送いたします。

放送は午前7・20分～8・12分。午後0・15分～1・0分また夜は午後7・30分～9・0と10時以降の30分間録画などで放送いたします。

NHKは十月一日から「みなさんとNHKを結ぶ月間」を通じ聴視者の意見や要望をうかがっています。また、この月を雑音一掃運動月間として〃よりよい画面を〃と雑音防止の協力を呼びかけています。相談は町内大倉電気に

（NHKから）

防火管理者講習会は

桧山支庁では、防火管理者講習会を十五日、十六日（午前九時から午後五時まで）二日間開きます。場所は公民館です。桧山支庁総務課に申込み下さい。

よろこび・かなしみ

（9月分）

出生10名　富田直嗣、諸戸千秋、丸山三雅、鈴木雅子、安田美智代、桧永ひとみ（今金）湯元敦保美（神丘）佐藤輝好（豊田）奥畑小百合（種川）高橋千賀子（光台）

婚姻3組　[illegible]

死亡3名　飯田新六73（金原）柳村やすゑ73（今金）荒川忠46（鈴金）

◇人物往来

（9月）

2日＝関越町役場産業課長外七人視察

8日＝目黒支庁職員八名町内視察

9日＝胆振支庁管内農業学校生二十名視察

12日＝自治庁交付税課長補佐視察、函館法務局登記課長打合せ

16日＝桧山支庁総務課長打合せ

21日＝鶴亀建設部吉村、横井技師調査打合せ

24日＝長万部町議会産業委任委一行視察

25日＝道森林計画課長打合

27日＝八雲税務署長視察

29日＝寿都町議行政視察